

令和3年度 地球の子ども株式会社

Montessori ちゃいるどほうす草薙事業報告書

令和4年度年3月25日
地球の子ども株式会社
代表取締役 乾 泰代

1. 事業目的と役割

小規模保育所は児童福祉法に基づき、乳幼児の健全な発達のための温かい家庭的な保育園を目指すとともに、地域の児童福祉活動を行うものとし、厚生労働省が定める『児童福祉施設最低基準第35条』により『養護と教育を一体的に行うこと』を特徴とし、環境を通して子どもの保育を行う役割を担い、保護者に対する援助を行う。

2. 小規模保育所の運営

(1) 沿革・経営組織

(別紙参照)

(2) 開所日

月曜日～土曜日

(3) 開所時間

7:30～18:30

(4) 休園日

日曜日、国民の祝日及び休日

年末年始(12月29日～1月3日)

法人が特別必要と認めた日

(5) 年齢別入所児数

0歳児 6名

1歳児 6名

2歳児 7名

合計 19名

(6) 職員数

10名 (施設長1名 園長1名 常勤保育士5名
パート保育士2名 調理員1名)

(7) 職員資格等

保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・調理師・モンテッソーリ教育専門教師・子育て支援員・子育て支援アドバイザー・ベビーマッサージ講師・保育所長研修修了・保育所主任保育士研修修了等

(8) 職員会議

組織としての各分野のリーダーの育成と配置、各職員が専門性を認識し、発揮できる役割分担の徹底と協力体制の弾力化を目標に以下の会議の開催

- ・職員全体会議（年度末最終土曜日）
- ・業務会議（第4金曜日の午睡時）
各行事の内容検討と反省、月案に基づく環境会議、安全管理、危機管理、ヒヤリハット、事例検討
- ・週案会議（第3火曜日午睡時）
月案に基づく環境研修会議
- ・給食会議（第2火曜日午睡時 各クラス）
- ・リーダー会議（第2火曜日）

(9) 職員研修

- ・円滑な運営と職員の質の向上を図る為、職員全員参加の職員研修及び園内外研修他、各種研修を積極的に実施。（研修実施状況については別紙参照）
- ・職員の研修参加費用、旅費、交通費全額支給、宿泊の場合出張手当あり
- ・毎月の園研修参加者には勤勉手当を支給（半日 2000 円、一日 7000 円）
- ・モンテッソーリ教育オンライン実践研修（月 1 回）
- ・モンテッソーリ実践講師による保育現場での実践研修（毎月 1 週間）
（新型コロナウイルスにより今年度は見送り）
- ・モンテッソーリ教師資格取得希望者にはコース費用全額支給
- ・新人入社時研修（ ）

(10) 職員の保育計画・記録

一人一人の成長発達にあった環境づくりを達成する為に、個別の月案、週案、日報（0歳児～2歳児までの観察記録）の作成を行う。

- ・児童票に基づく月案作成（毎月）
- ・月案に基づく週案作成（毎週木曜日の午睡時）
- ・日報（観察記録0歳～2歳）

(1 1) クラス編成について

プーポ組（0歳児）ピッコロ組（1歳児）ピッチーノ組（2歳児）
個別の発達段階に合わせた保育を推進するため、0歳から3歳までの
成長を4段階に分けた環境構成の充実を図る

(1 2) 機能強化推進事業 総合防災対策のための必要な修繕・物品購入管理

- ・ 備蓄用水（園児一人当たり 4.5ℓ）
- ・ 食料（園児一人当たり 3日分）
- ・ 簡易トイレ 100個
- ・ 防災用ラジオ 1個
- ・ バッテリー 1個
- ・ 防災用シート 40枚
- ・ 防災用コンロ 12台
- ・ 防災用カセット 12本
- ・ 乳幼児用防災頭巾 19個
- ・ 大人用ヘルメット 12個
- ・ 非常用持ち出し袋 4個
- ・ 移動車 1台
- ・ AEDの設置 1台
- ・ ポータブル電源装置 1台

(1 3) 健康管理の実施

- ・ 医師による園児の健康診断
村上小児科（村上 仁）年2回実施
- ・ 歯科医師による園児の歯科検診
かめやま歯科（亀山 太一）年2回実施
- ・ 身体測定 毎月1回
- ・ 職員の定期健康診断 年1回
- ・ 職員の検便検査 月1回

（赤痢菌・サルモネラ菌・病原性大腸菌O-157・腸チフス・パラチフス）

(1 4) 非常災害防止の実施状況

- ・ 避難消火訓練 毎月1回
- ・ 交通訓練 園外活動時毎回実施
- ・ 不審者訓練 毎月1回

(15) 施設設備・管理・安全点検・教材教具の充実

- ・セコムセキュリティーサービス
- ・防犯カメラ 道路側それぞれ1か所、園内の計3か所
- ・園児用合羽（雨具の購入）
- ・おままごとセット（ケーキセット、ハンバーガーセット、バーベキューセット、パンセット、ピザセット、ホットケーキセット、ティーセットスイーツセット）

(16) 第三者委員会の設置

掲示板、意見箱設置、ホームページによるご意見・ご要望・苦情についての窓口の設置

(17) 感染症予防対策

- ・次亜塩素酸を使って床、教具の消毒（一日2回実施）
- ・次亜塩素酸消毒液スプレーの4か所設置で即座に消毒
- ・おむつ交換は、使い捨て手袋を使用
- ・加湿空気清浄器の設置
- ・温湿度計の設置
- ・洗濯物を分けて洗濯（床拭き、床以外）
- ・手洗い、うがい指導の実施
- ・玄関前消毒液設置
- ・玄関内吸塵、吸水、抗ウィルスマット設置

[コロナウィルス感染予防対策として関係するもの]

- ・健康チェック表の記録
- ・乳児の歯磨き中止
- ・フェイスシールドの導入
- ・年間行事の見直し

(18) 清水区消防署監査（3月）

須藤商会の第三者消火設備点検確認（年間2回）

(19) 行政監査（9月）

- ・コロナ感染予防対策として書面監査

3. 保育理念

『Montessori ちゃいるどはうす』は生命の保持と情緒の安定を土台とし、0歳の3つの視点（人・もの・自分）、保育指針の5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の相互関係、小学校までに育ってほしい10の姿までの総合的関わりを重視している。モンテッソーリ教育法と自然体験活動を融合させた内容で、子ども達の興味関心を大切にし、実際に体験することで、全ての子どもが持っている『生きる力』を育成していく場を愛と知識を持って提供する。

4. 令和3年度保育目標について

『いろいろなことに挑戦できる子』

『自分のことは自分でできる子』

『やさしく強い心を持った子』

この三つの保育目標と新保育所保育指針の5領域である健康/人間関係/環境/言葉/表現を基に、子どもの個の発達を捉え、歳児別目標、年間目標及び第四期に分けて年間計画を作成した。

(1) 歳児別目標

- 0歳児
 - ・保育士との基本的信頼関係のもと、色々な遊びを楽しむ
 - ・一人ひとりの食事、排泄、睡眠の生活リズムで心地よく過ごす
 - ・歩行ができるようになり、探索活動を盛んに行う
- 1歳児
 - ・探索活動を楽しみ、周りの環境に興味を持つ
 - ・保育士と一緒に食事や排泄、着脱を繰り返す中で自分で出来る楽しさを味わう
 - ・自分の思いや気持ちを保育士に伝えようとする
- 2歳児
 - ・全身(体・指先)を動かして保育士、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ
 - ・基本的生活習慣(排泄・着脱・身支度)の自立を目指し身の回りのことを自分でしようとする
 - ・ごっこ遊びや模倣遊びを楽しみ友だちとの関りを広げる
 - 自分の思いを言葉や行動で伝える

5. 保育内容

(1) モンテッソーリ教育

子どもの発達の課題は、運動の獲得・言葉の獲得・意志の発達・知性の発達・社会性の発達・感覚の発達等、共通している。それらの発達の課題は、大人が教えるのではなく子どもが興味のあるものに自分から五感を使

って感じ、動きを通して獲得されていく。マリア・モンテッソーリが120年以上前提唱した「子どもの遺伝子にプログラムされている発達の課題には、時期と順番がある。子どもは、内在している『自己教育力』により、安心安全な環境（人・物・事）に関わることによって健やかに成長していく。」という考え方は、医学や科学の進歩によって証明され、現在では世界共通の教育のスタンダードとなっている。

『モンテッソーリ教育法』の考え方を基本とし、子どもが主体的に個々の発達に見合った環境と関わりながら成長できるようにという願いを込めて環境を整えた。毎日の生活の中で、発達段階に応じて以下の分野の活動を展開している。

- ・日常生活の練習・感覚教育・言語教育・文化教育・平和教育・音楽
・美術・造形
- ・今ある子どもの姿を捉え、発達段階に合ったモンテッソーリ教育に関するお仕事の紹介。(月1回外部モンテッソーリ教育専門講師によるオンライン指導)
- ・1年を通して様々な教具や教材に触れ、経験を積み重ね、視野を広げながら、子どもたちの「自分で出来る」という自信と意欲向上に繋げ、更なる成長を願い援助。
- ・今年度も中吉田園と連携し、保育士のお互いの学びの場としてオンラインに参加する事を可能とした。

R3年度モンテッソーリ教育費会計

(収入) 保護者徴収費	<u>199,260円</u>
(支出) 職員実践研修室	<u>0円</u>
職員研修参加費	<u>231,000円</u>
外部講師代	<u>250,000円</u>
支出合計	<u>481,000円</u>

・収入－支出 199,260円－481,000円（園負担分）

(2) バイリンガル教育

「これからの国際社会を生きていく子どもたちのための外国語体験プログラム」として、①日本語以外の言語に親しむことを通して、他者との違いや文化の多様性への興味関心を育む。②英語を使ったコミュニケーションを楽しむことを通して、積極的に他者と関わろうとする意欲を育む。③日本語以外の言語を使う体験をし、国際社会で活躍していくための素地を育む。ことを目的としている。

- ・フォニックス音を体験できる Lesson Plan 環境との整備
- ・日本語以外の言語を母国語とするバイリンガル講師と週に1回一緒に生活しながら関わることのできる環境を用意する。
- ・バイリンガルの時間を設定し、英語にふれ、発音を聴きとったりする。
- ・大人も子どももバイリンガル講師との簡単な英語でのコミュニケーションを楽しみ、「伝わって嬉しい」体験を増やす。

R2 年度バイリンガル教育費会計

(収入) 保護者徴収費 186,260円

(支出) 講師代 1370,182円 内部講師1、120,182円

外部講師 250,000円

支出合計 750,000円

・収入－支出 186,260円－1183,922円 (園負担分)

(3) 子ども主体の教育.

大人主体ではなく子ども自身が自ら選びとことん活動できる環境の構成に努め、保護者と連携をとりながら、子どもが集団のルールを基に、生活のリズムを整え、園での生活を通して社会性を育めるように、子ども目線の生活作りを実施。

(4) 食育

子どもと食べ物の10の健康な関係の提案

- ① 離乳期を大切に過ごす。
- ② 子どもが食べたくないことを大切に考える。
- ③ 無駄な間食をしない。
- ④ 食事の瞬間を楽しい時とする様に努める
- ⑤ 食べてしまうよう強制しない
- ⑥ 食事を処罰に使わない
- ⑦ 食事のルールは守る
- ⑧ 食べ物を粗末にしない。
- ⑨ 子どもが自分の量や、好みの選択ができる余地がある事。
- ⑩ 食事を楽しむ事

以上10項目の子どもと食べ物の健康な関係の提案をしながら、子どもが

健康で健やかなる身体作りを目標に、安心安全な楽しい給食の提供に努めると同時に、子どもが生活と遊びの中で意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食事を楽しみあう子どもに成長することを目標に食育を推進する。

- ・給食の実施

(乳児) 園児の発育状況に合わせ、離乳食から普通食への給食の実施

(1歳児以上) 園児の発育状況に合わせ、完全給食の実施

(2歳児以上) バイキング給食 (新型コロナウイルスにより休止中)

(保護者) 給食参観会 (新型コロナウイルス感染防止のため未実施)

- ・特別給食

毎月の行事ランチ

年度末お弁当ランチ

- ・クッキング活動 (歩けるようになって手が使えるようになってから)

バナナの皮むき、梅ジュース、みかんの皮むき、枝豆の皮むき、ゆで卵の殻むき、クラッカーサンド、シャービック、ピザトースト、たたききゅうり、みかんジュース、クッキー、ホットケーキ、お好み焼き、かき氷、スイートポテト、五平餅、おにぎり、フルーツカット

(新型コロナウイルス感染予防のため未実施)

- ・給食献立表の配布 (毎月)

(5) 戸外活動

- ・デッキ活動

水遊び、滑り台、乗り物遊び 等

- ・散歩

杉道公園、一里山西公園、茶畑、ローソン上公園、一里山東公園、新草薙公園、村上医院裏遊歩道、えんぴつ公園、ひょうたん塚等

(6) 自然活動

子供たちと一緒にプランターに土を入れるところから始め、草花のお世話や野菜を育てる園芸活動の実施。

チューリップの球根、ビオラ、パンジー、ラベンダー、ブルーデイジー、ピーマン、オクラ、なす、きゅうり、ブロッコリー、キャベツ、白菜、こかぶ、人参などの水やり。

(7) 生物活動

散歩の途中や公園で見つけた『かたつむり』、『アゲハチョウの幼虫』の飼育。

(8) 保護者との連携

保育は保護者と共に子どもを育てる営みであり、子どもの24時間の生活を視野に入れ、保護者の気持ちに寄り添いながら家庭との連携を密にして、積極的に乳幼児の子どもの育ちを支え、保護者の養育力向上につなげていけるように、以下の方法で『食事』『生活リズム』『衛生』『健康』『子育てについての精神的不安解消』のアドバイスの実施。

- ・相談室の開設（常時）
- ・ホームページでの情報公開と更新（常時）
- ・連絡帳（随時）
- ・園だより（月1回）
- ・クラスだより（季節ごと）
- ・子育て参考資料の配布（不定期）
- ・その他便り（不定期）
- ・苦情解決システム設置
- ・地域の各機関との連携
- ・年度末アンケートの実施
- ・面談（人様に応じて随時）

(9) 地域との交流

- ・近隣住人との関わり、公園遊びや散歩時の挨拶、一緒に遊ぶ体験等、自然な交流を楽しむ。
- ・ハロウィンパレードのお店巡り。(新型コロナウイルス感染防止のため未実施)
- ・日本平動物園での親子遠足行事としての交流（新型コロナウイルス感染防止のため未実施）
- ・子育て支援員研修受け入れ（新型コロナウイルス感染防止のため未実施）

(10) 主な行事

- 5月 こいのぼり集会・遠足(新型コロナウイルス感染防止のため未実施)
バイリンガルデイの開始
- 6月 給食参観会（新型コロナウイルス感染防止のため未実施）
給食トライアルメニューに開始
- 7月 七夕
- 8月 合同夏祭り（新型コロナウイルス感染防止のため各園にて実施）
- 9月 合同乳児親子レクリエーション大会

(新型コロナウイルス感染防止のため各園にて保護者不参加で実施)

- 10月 ハロウィンパレード (新型コロナウイルス感染防止のため各園にて実施)
- 11月 運動会 (保護者は各家庭2名参加で実施)
- 12月 クリスマス会
- 2月 節分
- 3月 ひな祭り・はばたきの会

(11) 令和4年度の計画について

令和4年の新たな計画の取り組み

- ・自然教育の充実
- ・戸外活動の充実
- ・バイリンガル教育
- ・フラワーアレンジメント (ピッチーノ)
- ・ハロウィン老人施設訪問体験
- ・地域子育て支援の実施 (年5回)
- ・親子でモンテッソーリ教育体験等
- ・塚本農園大会
- ・新型コロナウイルスの状況を見ながら昨年度中止になった活動の再開

6. 令和4年度の新たな取り組みの計画 (コロナの感染状況によって随時検討していく)

- ・コロナ感染拡大防止対策の継続 (体調チェックや駐車場での送迎方法の検討)
- ・自然教育の充実と園外活動の充実 (塚本農園体験の拡充企画検討、悠木の森体験の企画検討)
- ・積み木教室の実施
- ・トロバーダンス教室の実施
- ・リーベ式・ボルビ運動あそびの継続
- ・プログラミング教育の継続と拡充
- ・モンテッソーリオンライン実践活動の継続と拡充
- ・オンライン研修の継続と充実
- ・バイリンガルクラス継続と拡充
- ・教材室 教具の棚の整備
- ・各クラスの棚の整備
- ・教材 絵カードの充実

花火教室、粘土教室の実施（幼児クラス）

- ・ 幼児クラス はいチーズ企画/ヤクルト教室の参加
モンテッソーリ教師養成コースへの参加

職員リーダー教育への取り組み

- ・ その他子どもの最善の利益に合わせた活動の充実

10. 職員処遇についての新たな取り組み

- ・ 職員一人一人の豊かな生活の質の向上を図ることによって、笑顔を日々の保育に還元し、子どもの最善の利益につなげていく事を目的とした『クオリティーオブライフ計画（年間一人3万円）』を福利厚生制度に導入。
- ・ 職員退職金制度を整備。